

【取組内容①】教科の学習内容に応じたデジタルドリルの活用

1. 百マス（3分以内にできるように挑戦）（昨日よりは1秒多く）
2. めあてを確認する 「時速・分速・秒速を比べよう」
3. 教科書 P102を開く
 - ①問題を確認する。（わかっていること、たずねていること、単位はなにか線を引いて確認する）
 - ②問題をとくために、必要なことを考える。
 - ③ドキュメントを開いて、書きこむ。
 - ・時速→分速→秒速になおす→どちらが速いか比べる
 - ④ノートに②の問題をとく。（ドキュメントを見ながら問題を解いてみよう）
 - ・秒速→分速→時速になおす→どちらが速いか比べる
4. 今日のまとめを考えてノートに書く（時速・分速・秒速を比べるために大事なことは？）
5. タブレット・下の動画をみて今日の勉強の復習をする。
6. 算数の力 46に挑戦する（先週学習したことの復習。速さを比べるときにはどうしたか。ノートや教科書を見てもOK）
7. タブレットドリル「速さ」に挑戦する。（1つに速さにそろえてみよう）



小5算数 速さ【秒速を分速...
YouTube 動画・2分



無題のドキュメント
Google ドキュメント

- ・これまでは、単元最後の習得に実施していたが、自己の学習の進捗に応じて、デジタルドリルを活用。ドリル内のレベルを意識して取り組ませることで、自己の理解度を図り、学びを自己調整する力に繋げている。